

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

肛門初発クローン病の診断と治療戦略

【目的】

クローン病に関連した肛門病変は難治化すると肛門狭窄や発癌など不可逆的な経過をたどる。痔瘻を発症したクローン病患者では適切な時期を逃さず生物学的製剤をはじめとした内科的治療を行うことが肝要だが、肛門初発のクローン病では肛門病変の発症を手がかりとして如何に早期にクローン病の発症を予測、診断し内科的治療を導入できるかが課題となっている。そこで、適切な診断方法、最適な治療方針を明らかにすべく、肛門初発のクローン病症例をRetrospectiveに当院の電子カルテの当院受診患者記録から抽出し、臨床データをExcelにまとめ、統計学的解析などを行い分析する。

【対象】

当院開院～2024年12月31日の間に大腸・肛門外科または消化器内科を受診した患者で、肛門病変を持ち、クローン病と診断されたもの。

【方法】

研究対象者のカルテより調査項目についての情報をExcelに転帰する。T検定、 χ^2 検定などで有意差検定を行う。

【個人情報の取り扱い】

研究対象者のデータは個人情報を厳重に管理(匿名化等)した上で、できる限り長期間保存する。

【利用する試料・情報】

研究対象者の電子カルテ内の診療情報を収集する。

【研究期間】

令和6年5月4日 ～ 令和6年12月31日 (終了予定)

【研究組織】

辻仲病院 柏の葉 大腸・肛門外科

【研究実施機関】

辻仲病院 柏の葉

【連絡先】

研究責任者：辻仲病院 柏の葉 大腸・肛門外科 高野 竜太郎

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。